

# エクスカージョンの取り組み予定(H23年度 4月～3月)

<平成23年3月現在>

番号	名称	日付	場所	対象者	参加人数	開催機関	概要	問い合わせ先	備考
1	中津川市エクスカージョン	平成23年10月下旬	・旧中津川市街中山道沿い ・四ッ目川災害跡地など	一般募集の参加者	200名	中津川市エクスカージョン実行委員会(多治見砂防国道事務所・中津川市・中津川市立西小学校他)	2つのエクスカージョンコースを設定し、中津川流域の魅力の再発見と防災意識の向上を図る。  Aコース 中津川市立西小学校の6年生がガイドとして、「中山道の伝統・文化」を巡る。 Bコース 地域住民がガイドとして、「四ッ目川災害跡地」を巡り、防災意識の向上を図る。	多治見砂防国道事務所 総務課 0572-25-8020	
2	山郷倶楽部	第1回 平成23年 6月15日 第2回 平成23年 7月20日 第3回 平成23年 9月28日 第4回 平成23年10月26日	岐阜県揖斐郡揖斐川町及び本巣市内	揖斐川・根尾川流域在住の方	20名	山郷倶楽部実行委員会(越美山系砂防事務所、揖斐川町、本巣市)	揖斐川の上流域で整備されている砂防ダムや横山ダム、徳山ダム等の施設を見学し、その役割や水源地保全の大切さを理解していただくとともに、山間部で生活している方々の暮らしに直接触れる。	越美山系砂防事務所 0585-22-2161 ホームページ <a href="http://www.cbr.mlit.go.jp/etsumi/">http://www.cbr.mlit.go.jp/etsumi/</a>	
3	河川管理施設見学会	平成23年8月 平成23年10月	・船頭平閘門 ・高須輪中排水機場 ・木曾三川公園センター ・長良川河口堰 ・赤須賀水門など	一般募集の参加者	40名	木曾川下流河川事務所 NPO法人木曾川文化研究会	NPO法人木曾川文化研究会と協力し、木曾川下流域の河川管理施設・史跡をめぐること、水害に対して脆弱な地域の特性と先人たちの英知を知り、現在行っている治水事業について理解を深めていただく。	木曾川下流河川事務所 調査課 TEL0594-24-5715	
4	三六災害50年の取り組み	平成23年4月～10月	天竜川上流直轄砂防流域	一般住民	未定	天竜川上流河川事務所	昭和36年6月、長野県南部の伊那谷を襲った大災害(通称「三六災害」)から今年で50年の節目を迎える。災害を風化させず、教訓として継承し、さらに地域とともに水害・土砂災害に備えた地域づくりを目指すことを目的とした取り組みを行う。	天竜川上流河川事務所 砂防調査課 0265-81-6417	

5	天竜川上流砂防工事現場見学会	平成23年6月中	天竜川上流直轄砂防流域	小学生	未定	天竜川上流河川事務所	「土砂災害防止月間」に合わせて開催する。天竜川上流河川事務所の職員が天竜川上流直轄砂防流域の自然・環境・歴史・文化などを解説しながら、砂防事業への理解を深めていただく取り組みである。	天竜川上流河川事務所 砂防調査課 0265-81-6417	
6	駒ヶ根高原砂防フィールドミュージアムガイドツアー	未定	太田切川周辺(長野県駒ヶ根市、宮田村)	一般市民	未定	駒ヶ根高原砂防フィールドミュージアム構想協議会	駒ヶ根高原一帯を屋外博物館として、そこに点在するさまざまな資源を巡る「砂防フィールドミュージアム」で、「砂防の意義」や「防災の大切さ」を解説しながら理解を深めていただく取り組みである。一般市民に募集を呼びかけ、月2回程度の開催を予定している。	駒ヶ根高原砂防フィールドミュージアム構想協議会事務局 天竜川上流河川事務所 砂防調査課 0265-81-6417	
7	伊勢湾水理環境実験センター一般公開	平成23年7月	名古屋港湾空港技術調査事務所(伊勢湾水理環境実験センター)	一般(小学生低学年)	200名	名古屋港湾空港技術調査事務所	伊勢湾水理環境実験センターを一般に開放し、海の環境や安全について、さまざまな展示や体験コーナーを設け、理解を深めていただく。	名古屋港湾空港技術調査事務所 総務課 052-612-9981	
8	名古屋港見学	平成23年5月24日	名古屋港内	桑名市立陽和中学校2年生	6名	桑名市立陽和中学校	港が外国貿易との重要な拠点であり、日本の生活を支えるうえで必要であることを港内見学を通して説明するとともに、港湾整備事業への理解を深めていただく。	名古屋港湾事務所補償調査官 052-651-6266	
9	港区生き物発見隊	平成23年7月10日	名古屋港内	親子(一般募集)	30名	港生涯学習センター、伊勢湾フォーラム	名古屋港の水質調査を行うとともに、浚渫兼油回収船「清龍丸」を見学し、海洋環境整備事業の理解を深めていただく。併せて名古屋港に生息する魚類について、調査を実施する。	名古屋港湾事務所補償調査官 052-651-6266	